

最新の建設技術・工法を公開する「EE東北'22」に出展

2022.06.14

6月1～2日の2日間、建設事業の新材料・新工法や、時代のニーズから生まれた最新の建設技術を一般公開する東北地方最大の建設技術展「EE東北'22」が、仙台市宮城野区の「夢メッセみやぎ」で開催されました。

31回目となる今回は、ICTやAIなどの「DX=デジタルトランスフォーメーション」に関連する技術を中心に過去最多となる358の企業・団体が出展し、5つの分野に1,040の建設技術が大集結。「設計・施工の技術分野」に出展した当社は、『国土技術開発賞』で最優秀賞の評価を得た「住まいながら液状化対策工法」をはじめ、三次元画像を活用した「盛土材料品質管理システム」、トンネル施工の安全を見守る「切羽変状可視化システム」の3技術について、パネルや模型等を使って展示・紹介しました。

2日間の来場者数は12,200人と時節柄少なかったものの…当社ブースを訪れた方々からは熱心な質問も寄せられ、ICTやAIなど『先端技術に』対する興味・関心の高さが伺えました。

